

地方創生推進交付金事業(令和2年度実施分) 事業効果検証シート

事業名称	ひたちなか大洗リゾート構想推進事業		事業期間	令和2年4月～令和5年3月
令和2年度 ひたちなか市 負担事業費 (うち交付金)	1,953千円 (976千円)	内訳	(1) 情報発信事業(VR動画制作及び広告配信業務委託費)	1,918千円
			(2) 事務費(アドバイザー報償費, 会場使用料等)	35千円

事業に設定したKPI	重要業績評価指標(KPI)	開始前(R1)	目標値(R2)	実績値(R2)	達成率
	①	ひたちなか大洗地域の観光入込客数(千人)	8,440	8,540	3,944
②	ひたちなか大洗地域の観光消費額(百万円)	35,003	36,480	16,100	44.1%

総合戦略における位置づけ	基本方針	1. 産業の活性化と雇用の創出 2. つながりを築き, 新しい人の流れをつくる	関連KPI	・平均訪問地点数 ・1人当たりの観光消費額 ・来訪者の満足度 ・年間観光入込客数
--------------	------	--	-------	---

事業効果の検証・分析	<p><①のKPIについて> コロナ禍で, 2市町の主要観光施設が休園・休館となったほか, 夏の海水浴や, 各種お祭り・花火大会等の大規模イベントが中止となった影響により, 目標を達成することができませんでした。 積極的なプロモーションを実施しづらい環境下ではありましたが, 視聴者に, 旅の疑似体験やシミュレーションの機会を提供することを目的として, 観光VR動画を制作・配信し, 総再生回数が約9万回を記録するなど, 多くの方に視聴していただきました。当該動画は, ひたちなか大洗地域を1泊2日で巡る内容となっており, コロナ収束後を見据え, 当地域への訪問・宿泊意欲の向上に一定の寄与ができたものと考えております。</p> <p><②のKPIについて> コロナ禍で観光客が大きく減少したことに加え, 感染拡大防止の観点から, 目的地のみを訪問する, 直行直帰の旅行スタイルが主流となったことなども影響し, 目標を達成することができませんでした。 そのような中, 3密を回避できる移動手段としてニーズが高まっている自転車に着目し, 2市町間を結ぶ電動レンタサイクル事業を開始しました。当該事業は, 借りた場所以外での返却を可能とすることで利便性の向上を図っており, 観光客の周遊を促し, 滞在時間の延長・観光消費機会の創出に一定の寄与ができたものと考えております。</p> <p><総合戦略のKPI達成に向けた本事業の評価> 令和2年度は, コロナ禍の影響を踏まえながら, 観光VR動画の制作・配信事業及び電動レンタサイクルの相互乗り入れ事業を実施しました。コロナ禍の影響が大きく, 短期的な成果を出すことはできませんでしたが, コロナ収束後に繋がる取り組みであったと考えております。</p>
------------	---

検証・分析の結果	A	本事業は地方創生に非常に効果的であった
	B	本事業は地方創生に効果があった
	C	本事業は地方創生に効果がなかった

検証・分析を踏まえた今後の方針(案)	1	事業が効果的であったことから, 取組を追加するなど更に発展させる
	2	事業内容の見直し(改善)を行う
	3	特に見直しをせず, 事業を継続する
	4	事業継続を予定していたが, 実施を中止した
	5	当初予定どおり事業を終了した

方針(案)の理由・内容	一体的な観光地としてのイメージの定着を図り, 観光客の誘客及び周遊を促進することを目的として, 引き続き情報発信事業を実施して参ります。 また, コロナの影響が長引くことを想定し, コロナ禍にあっても訪れてくれた観光客に現地で少しでも多く消費してもらうことを目的として, 新たに食コンテンツの開発・PRに取り組みで参ります。
-------------	---

【判定】事業の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に有効であった <input type="checkbox"/> 地方創生に有効とは言えない
-----------	--